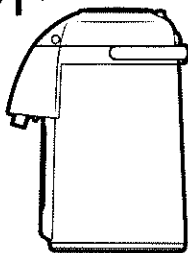


タイガーエアーポット 〈とら〜ず〉

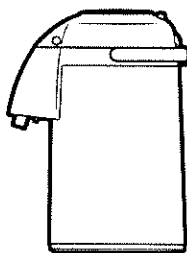
品番 **PNM-G,A,S**
(水量計つき)
PNM-H,B,T

取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

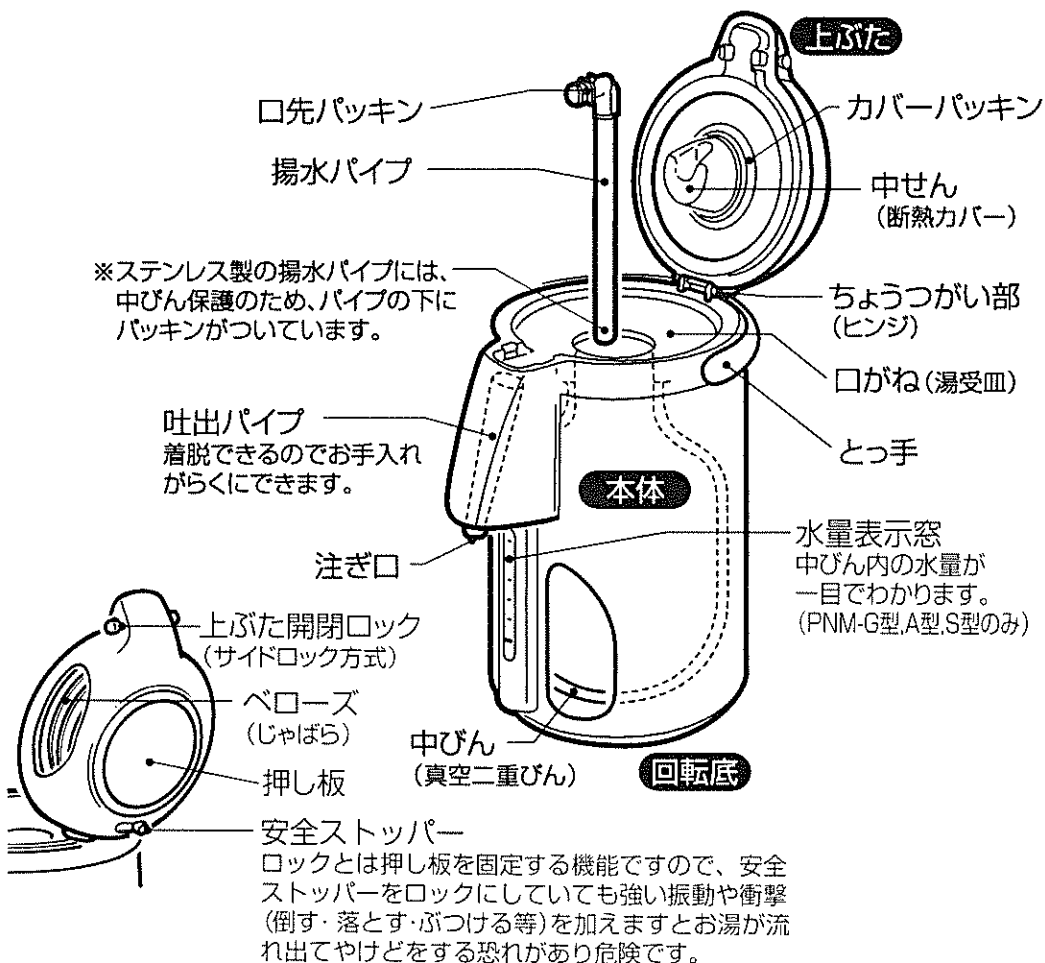


PNM-G,A,S
(水量計つき)



PNM-H,B,T

各部のなまえとはたらき

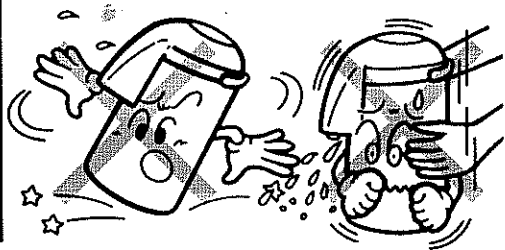


必ずお守りください

もれたりあふれたりすると、やけどや他のものを汚す原因になります。

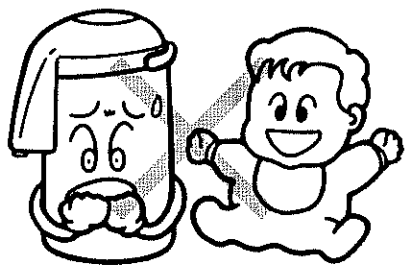
倒したり落としたりぶついたり、強い振動(特に上下の振動)衝撃を与えないでください。

中びんが破損したり、お湯が出てやけどをするおそれがあり危険です。



乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには充分にご注意ください。

やけどなどのおそれがあります。



コンロやストーブなど、火気の近くや直射日光のあたる場所では使用しないでください。

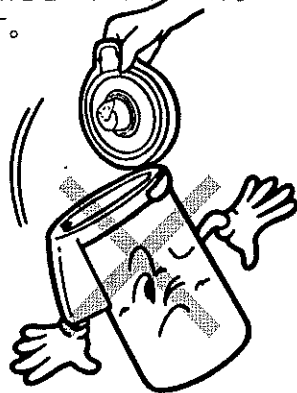
樹脂部の変形、変色の原因になります。

自動車の中では使用しないで。やけどや汚れの原因になります。

ふたは確実に閉めて、ご使用ください。

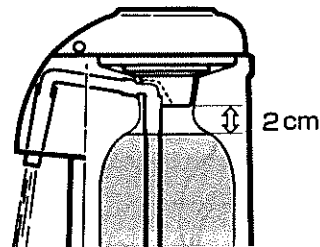
持ち運びはとっ手を持って

上ぶたを持ったり、傾けたり横にして持たないでください。やけどや汚れの原因になります。



お湯の量はびん口より2cm少なめに

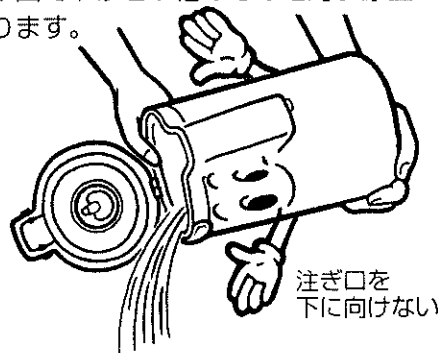
入れすぎると、上ぶたを閉めるときにあふれることがあり危険です。(口がねの樹脂部の下端を目安に)



お湯が少ないときは押し板を強くおさないで

注ぎ口からお湯が飛び散ることがあります。

残り湯を捨てる場合は、揚水パイプを取りはずし、上ぶたを支え、注ぎ口は横に向けて注ぎ口が下を向いていると注ぎ口からお湯が出てやけどや他のものを汚す原因になります。



次のものは入れないでください。

- ドライアイス、炭酸飲料など(内圧が上がり、内容物が吹き出るおそれ)
- 牛乳、乳飲料、果汁など(腐敗、変質の原因)
- お茶の葉、コーヒー、麦茶、紅茶など(目づまりや、注ぎ口からしずくが落ちる原因)



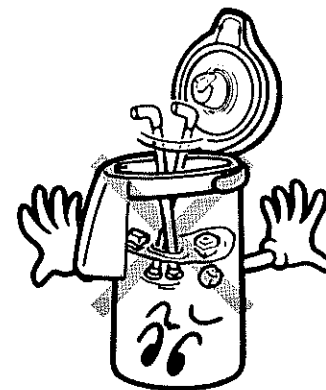
飲料物の保温、保冷以外に使用しないでください。

急熱、急冷はしないで

冷たいものを入れた直後に熱いものを入れたりその逆は、中びんの破損の原因に。

揚水パイプで氷をかきまぜたり、氷を入れた場合ポットを強くゆすったりしないでください。

中びんの破損の原因になります。



本体の丸洗いはしないでください。

水が浸入しサビの発生や、他のものを汚すおそれがあります。



分解修理はしないでください。故障や事故の原因になります。

ご注意とお願い

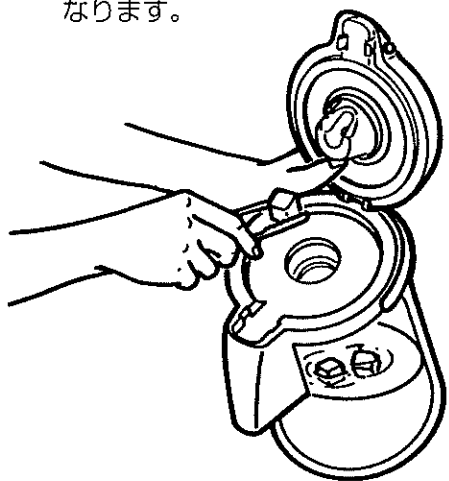
ポットの肩部分に熱いやかんをあてないでください。

傷や変形の原因になります。



氷を入れる場合は次の手順で

- 1 揚水パイプをはずす。
- 2 先に水を入れる。
- 3 小さく砕いた氷を、本体を斜めにしてすべらすように入れる。
- 4 揚水パイプを取りつける。
(そうしない場合中びん破損の原因になります。)



シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。

傷やサビ、故障の原因になります。



揚水パイプを着脱する場合、パイプを中びんにあてないで

中びんの破損の原因になります。



熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

中びんにはお湯を入れ、お茶のときは急須等をご使用ください。

ご使用方法

ご使用前に必ず中びん、揚水パイプ、口がね、注ぎ口を洗ってからご使用ください。

1 上ぶたをあける。

- 1 安全ストッパーを〈ロック〉にセットします。



- 2 上ぶた開閉ロックを指でつまみ、上ぶたを開けます。

2 お湯(水)を入れ、上ぶたを閉める。

- 1 お湯(水)を入れる前に、揚水パイプが取り付けられているのを確かめてください。
- 2 保温効果を高めるため、あらかじめ少量の熱湯を入れ1分位予熱しておきます。
- 3 予熱後はそのお湯を捨て、新しいお湯を入れます。
- 4 上ぶたをカチッと音がするまで確実に閉めます。

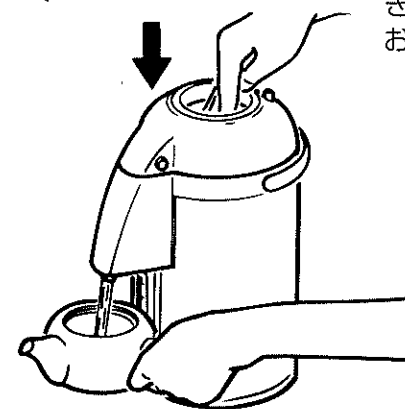
※揚水パイプにお湯があたり、まわりに飛び散らないようご注意ください。

3 お湯(水)を注ぐ。

- 1 安全ストッパーを〈解除〉にあわせます。
- 2 容器を注ぎ口に近づけ、押し板のまん中をゆっくりと押します。

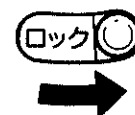


※注ぎ口からしずくが落ちることがあります。(特に、吐出パイプが汚れてきた場合) そのときは、しずくが落ちきるのを待ってから容器をおとりください。



4 注ぎ終わったら。

- 安全ストッパーを必ず〈ロック〉にセットします。
- 毎日残り湯を捨て、お手入れの後で新しいお湯を入れてください。



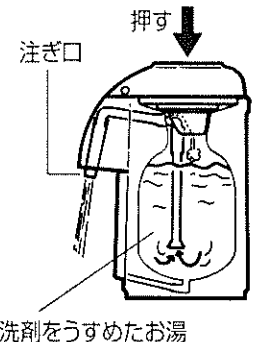
※お手入れをおこたったり、残り湯を長い間入れたままにしておきますと、各部はもちろん、特に水位管(PNM-G型、A型、S型のみ)の汚れがめだってきます。

お手入れの方法

ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために必ずその日のうちにお手入れをしてください。

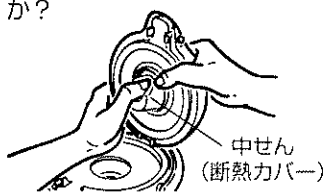
- シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。
- 洗剤は必ず台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をご使用ください。
- 洗剤分は後で十分に洗い流してください。
- 保存される前には次の要領で各部を充分にお手入れをし、よく乾燥させた後、湿気の少ない場所に保存してください。

本体・上ぶた	洗剤をうすめたお湯をやわらかい布にふくませ、かたくしぼり汚れをふきとります。後は柔らかい布で空ぶきます。	※本体の丸洗いはしないでください。金属製本体にサビが発生し、中びんの落下、破損、やけどの原因になります。また、他のものを汚したりします。
揚水パイプ・吐出パイプ	揚水パイプ・吐出パイプは洗剤をうすめたお湯の中で、やわらかいスポンジで洗います。吐出パイプ内部は、洗剤をふくませた布をワリバシに巻きつけ、内側の汚れをふきとってください。さらに揚水パイプの内部は、中びんに洗剤をうすめたお湯を入れ、揚水パイプ・吐出パイプをセットしたまま押し板を繰り返し押しした後、お湯で十分にゆすぎます。	※煮沸はしないでください。変形することがあります。 ※損傷しないよう、ていねいに取扱ってください。 ※ステンレス製の揚水パイプの先端にはパイプパッキングがついています。これは金属パイプが中びんにあたって割れるのを防ぐものです。お手入れの際になくしたり、つけ忘れたりしないでください。 ※吐出パイプは汚れがひどくなると注ぎ口に“しずく”が残ります。
中びん	お湯でうすめた洗剤液を柄のついた柔らかいスポンジブラシに含ませ、ていねいに洗います。(フレークス発生の場合は、別項を参照)	※たわしやみがき粉、金属製たわしは絶対に使用しないでください。中びんに傷がつき、破損の原因となります。



修理を依頼される前の点検の方法

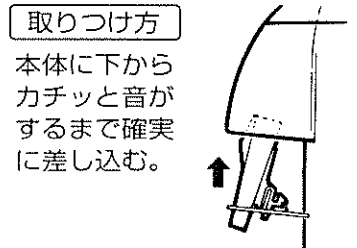
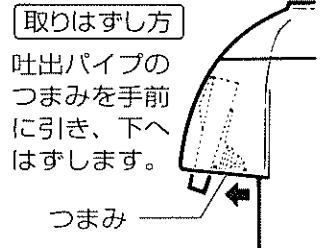
次の点検をしてもなお不具合の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

こんな場合	点検	処置
お湯が出ない 出にくい ※揚水パイプおよび各部パッキン類は消耗品です。半年から1年を目安に、汚れが目立ってきたら、お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、お買求めください。	カバーパッキングが、はずれていませんか？	はずれていれば取りつけてください。
	揚水パイプがはずれていませんか？	はずれていれば確実に取りつけてください。
	揚水パイプがつまっていますか？ 破損していませんか？	水道水を勢よく流し込んでください。破損していれば、新しいものをお買求めのうえ、お取り替えください。
	ベローズが損傷していませんか？  ※中せんの穴に指をあて、押し板を押し最後まで下がるようでしたら、ベローズが損傷しています。	破損してしましたら、修理が必要ですので、お買い上げの販売店へご相談ください。
お湯が さめやすい ※保温効果は、沸騰したお湯をできるだけ多く入れる程、高くなります。	吐出パイプの中に異物がつまっていますか？	つまっていたら、とりのぞいてください。
上ぶたがきっちりと閉まっていますか？	熱湯をほぼ満量入れ、30分後本体ケース部を手でさわってみてください。	きっちりと閉めなおしてください。 もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店に中びん修理をご依頼ください。

※ふたの一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますがこれはウエルドラインおよびフロアマーク(樹脂成形時に発生する線状および波状の跡)でご使用上の品質に支障はございません。

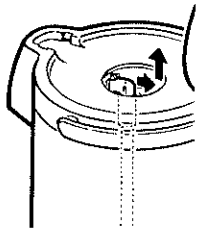
吐出パイプの着脱方法

- 安全スッパーを必ず「ロック」にセットします。
- ※「ロック」になっていないと、誤って押し板を押したときにやけどをします。

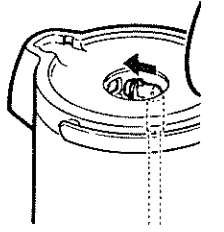


揚水パイプの着脱方法

- 取りはずし方**
- 揚水パイプの上部をつまみ、ゆっくりと引きぬき、まっすぐ上に持ち上げます。



- 取り付け方**
- 揚水パイプの上部を確実に差し込みます。取り付けが不十分ですと、お湯が出ないことがあります。



フレークスが発生した場合のご注意

まほうびんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものを見つかることがあります。これは『フレークス』と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、中びんに食酢を約10%加えた湯を入れておき、30分～1時間後、やわらかいブラシなどで、びんの内壁をよく洗ってからお使いください。

※ 中びんは、フレークスが発生しない場合でもときどき同じ方法でお手入れしていただくとう効果的です。

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）へ次のことをご知らせの上、ご相談ください。

①製品名 ②品番 ③製品の状況（できるだけ詳しく）

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※中びんその他の破損修理、各部品の別売りもいたしております。

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



市内通話料でOK 市内通話料金でご利用いただけます。

0570-011101

受付時間 AM9:00～PM5:00
月曜日～金曜日

(祝日・弊社休業日を除きます)

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを利用できない電話)の方はこちらへ
TEL (06) 6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>